

クリニカルパスの 普及・体制の現状と課題

～第18回（2018年）アンケート結果から～

日本クリニカルパス学会 広報委員会

調査目的

- クリニカルパスの日本における現状と動向を把握する。
- 現場が求めている情報、支援を理解し、今後の学会としての活動に示唆を得る。
- 特定調査は、院内で集計しているパスに関するデータとし、パス使用率等のクリニカルインディケーターなどについて調査した。

調査方法

<対象>

- * 日本クリニカルパス学会の法人会員
・ ・ ・ ・ ・ 427施設
 - * 200床以上の全国の一般病院（一部例外を含む）
（法人会員施設を除く）
・ ・ ・ ・ ・ 889施設
 - * 上記のうち、送付先のエラーや閉院などでの返送分
・ ・ ・ ・ ・ 11施設
-
- 計1,305施設

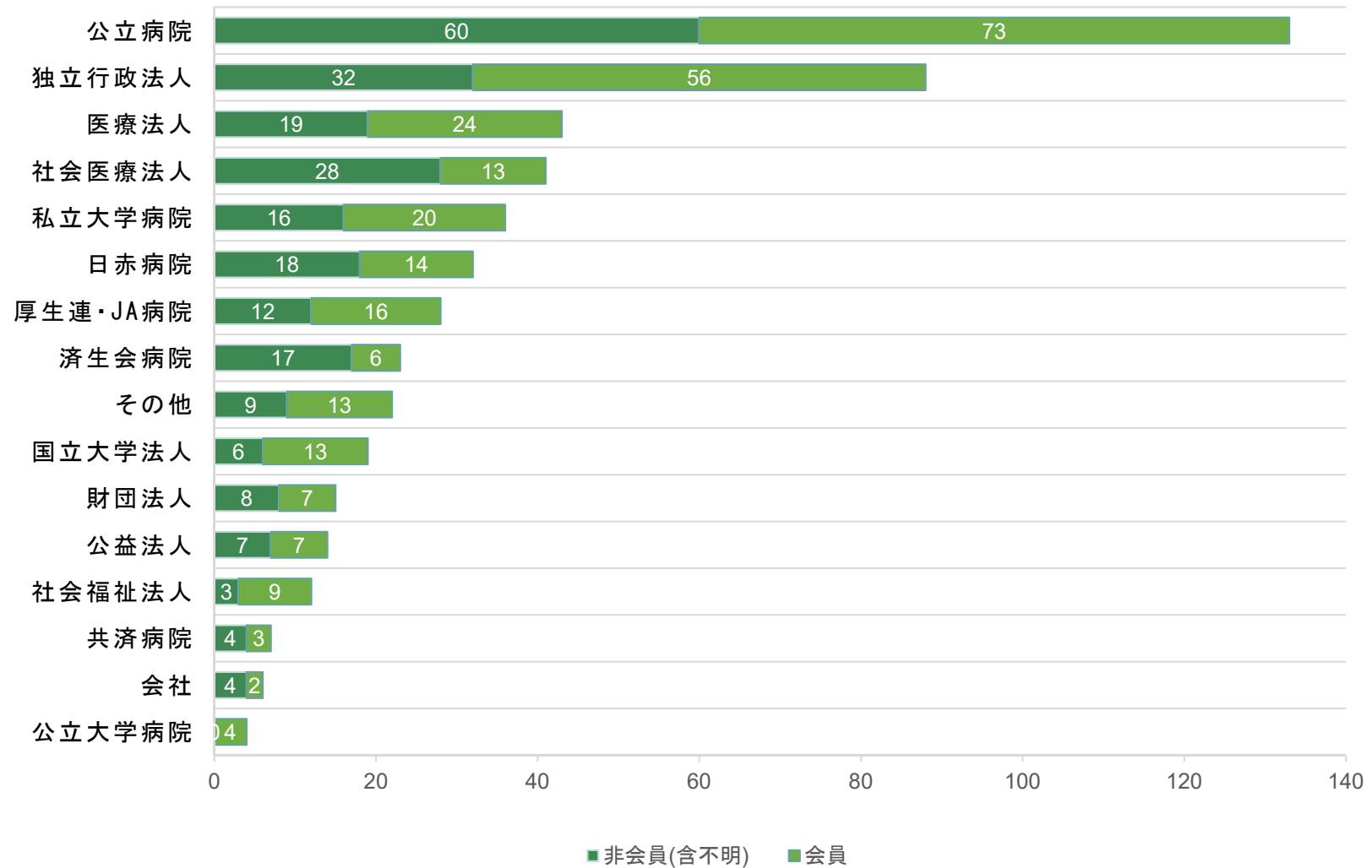
郵送によるアンケート調査。

2018年7月に調査票を配布し、未記名にて回収（任意で施設名を記入可能）。

調査結果

- * 調査票回収割合：45.7%（597／1,305施設）
前年度比4.7ポイント上昇
- * 法人会員：60.2%（257／427施設）
- * 非会員：36.1%（317／878施設）
- * 会員種別不明：1.8%（23／1,305施設）

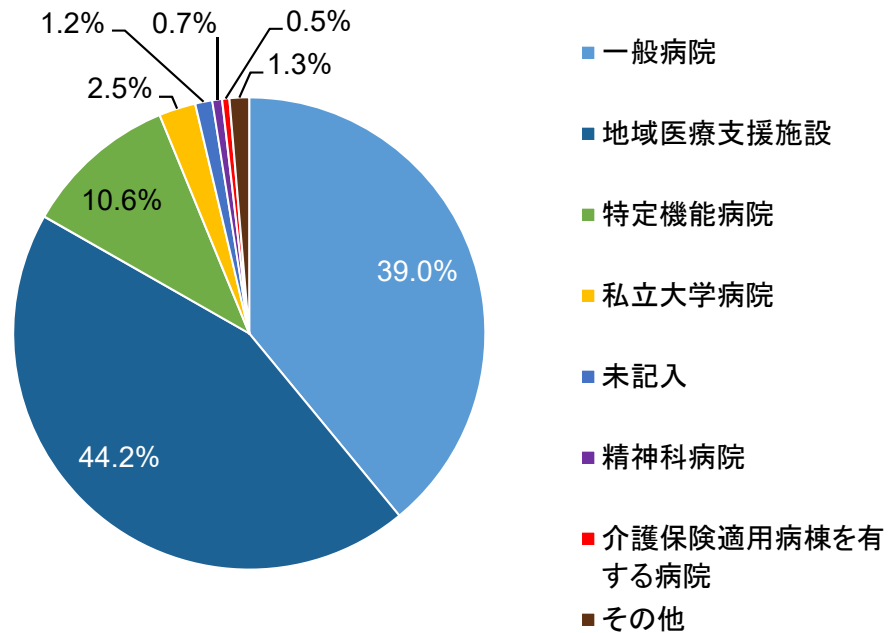
経営主体分類



施設数 (n=597)
有効回答

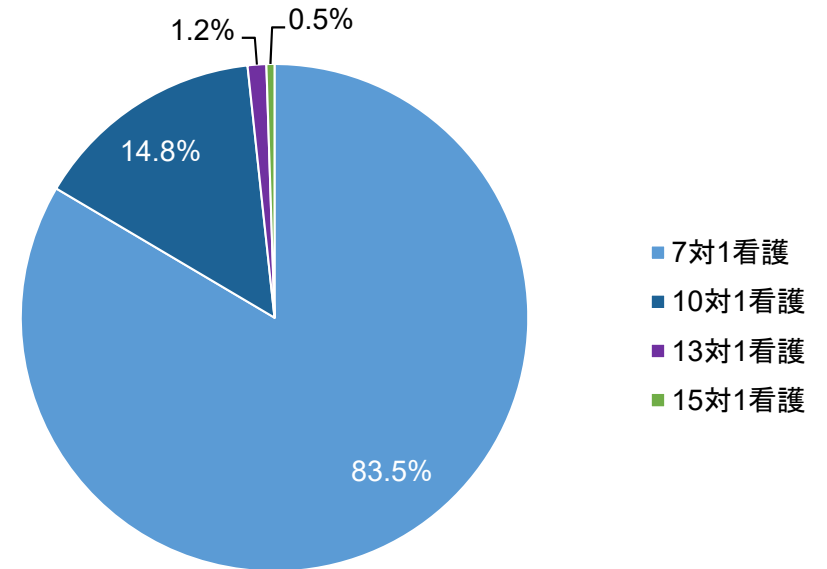
施設機能分類・看護体制

施設機能分類 (施設数)



施設数 (n=590)
有効回答

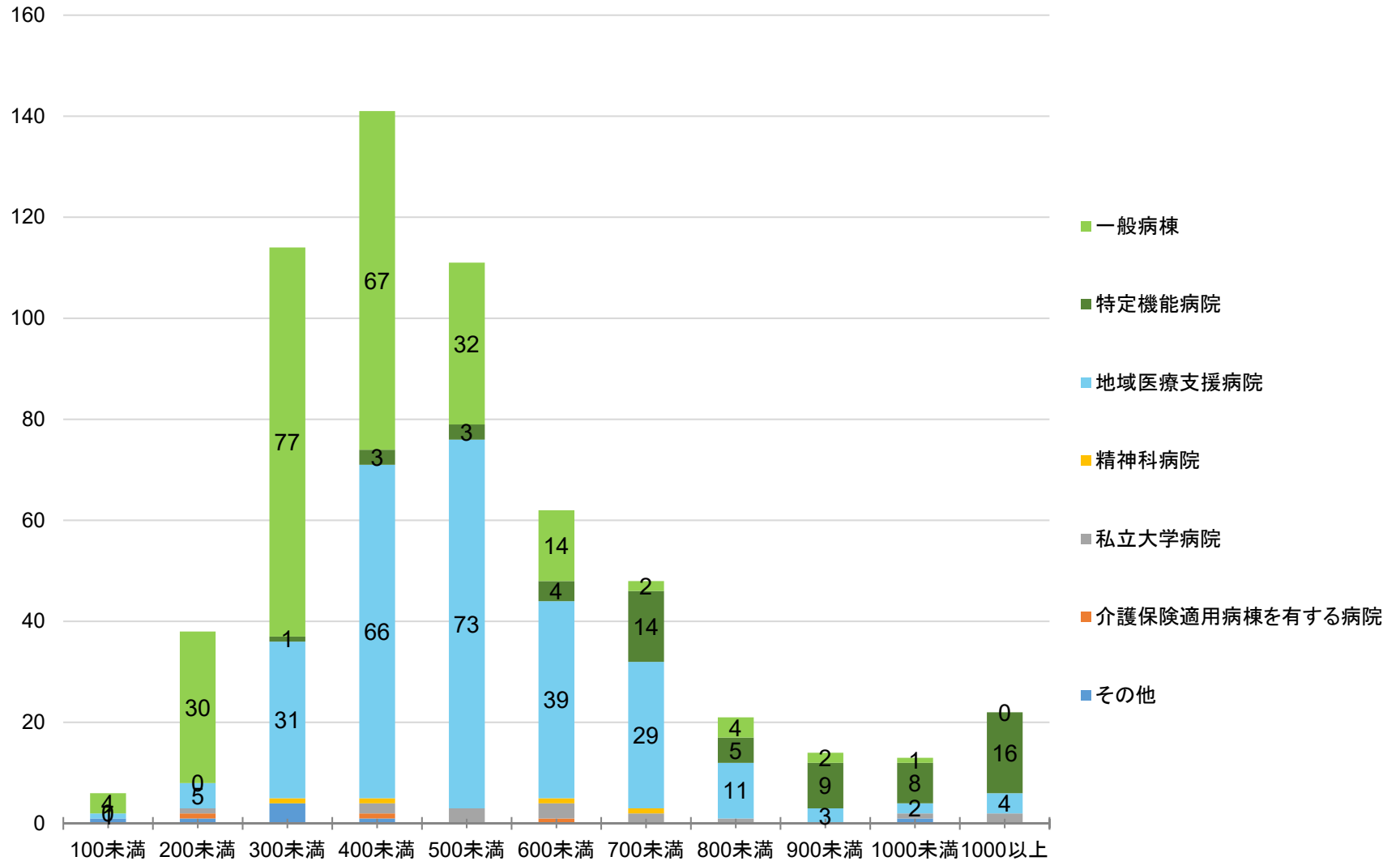
看護体制 (施設数)



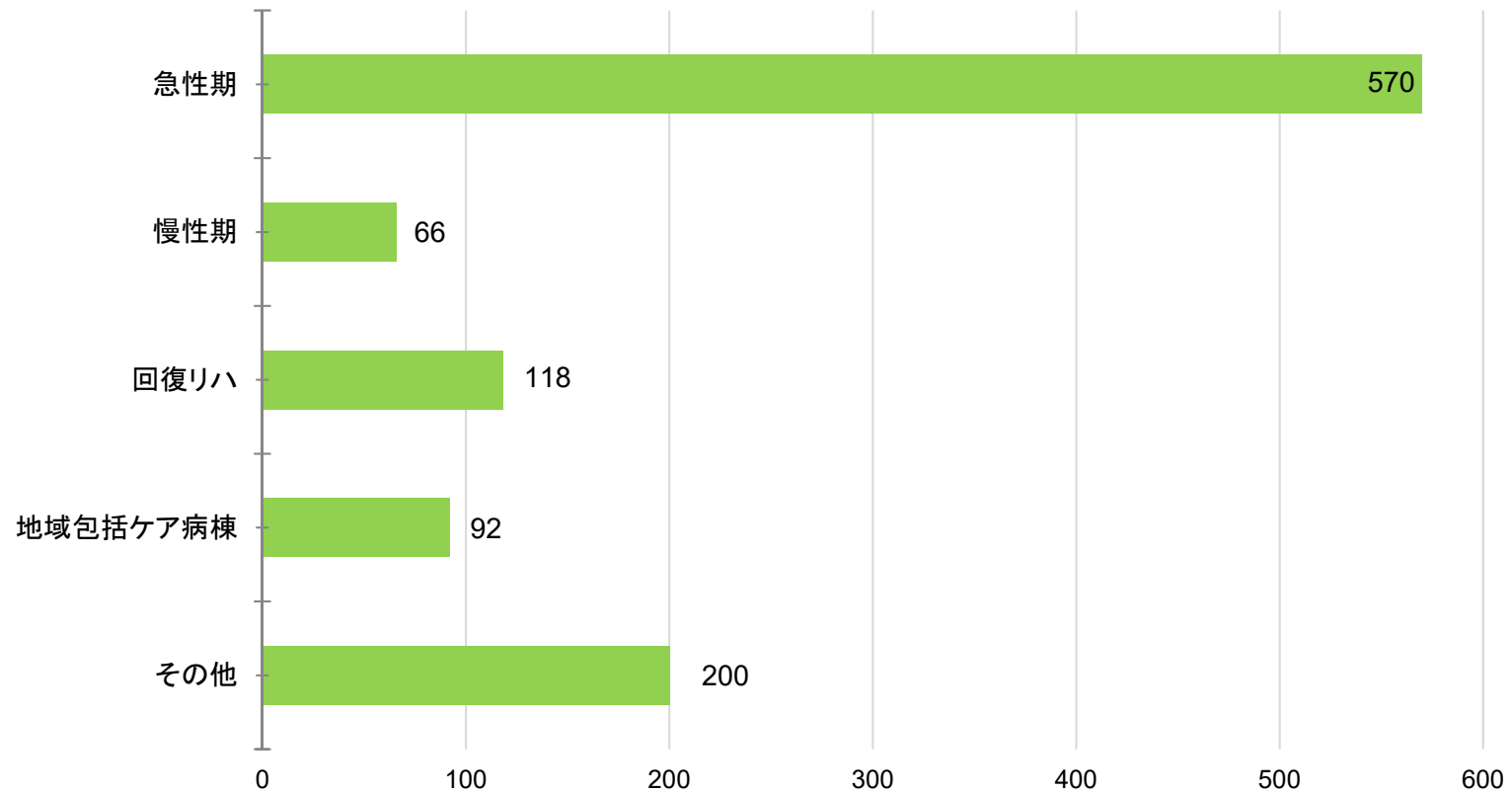
施設数 (n=588)
有効回答

許可病床数と施設機能分類の関係

許可病床数
(n=590)



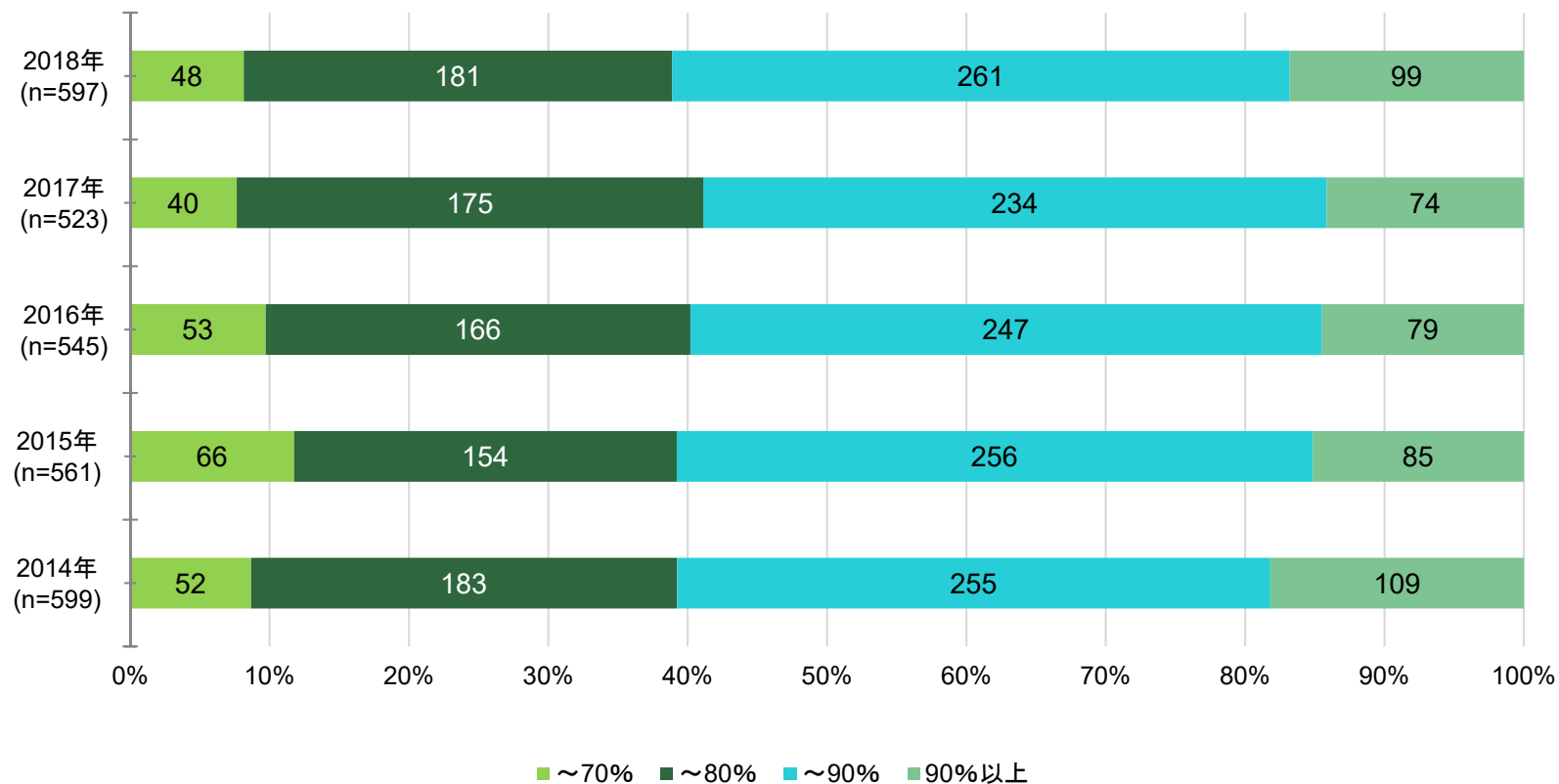
設置病床について



延べ施設数 (n=1046)

病床利用割合

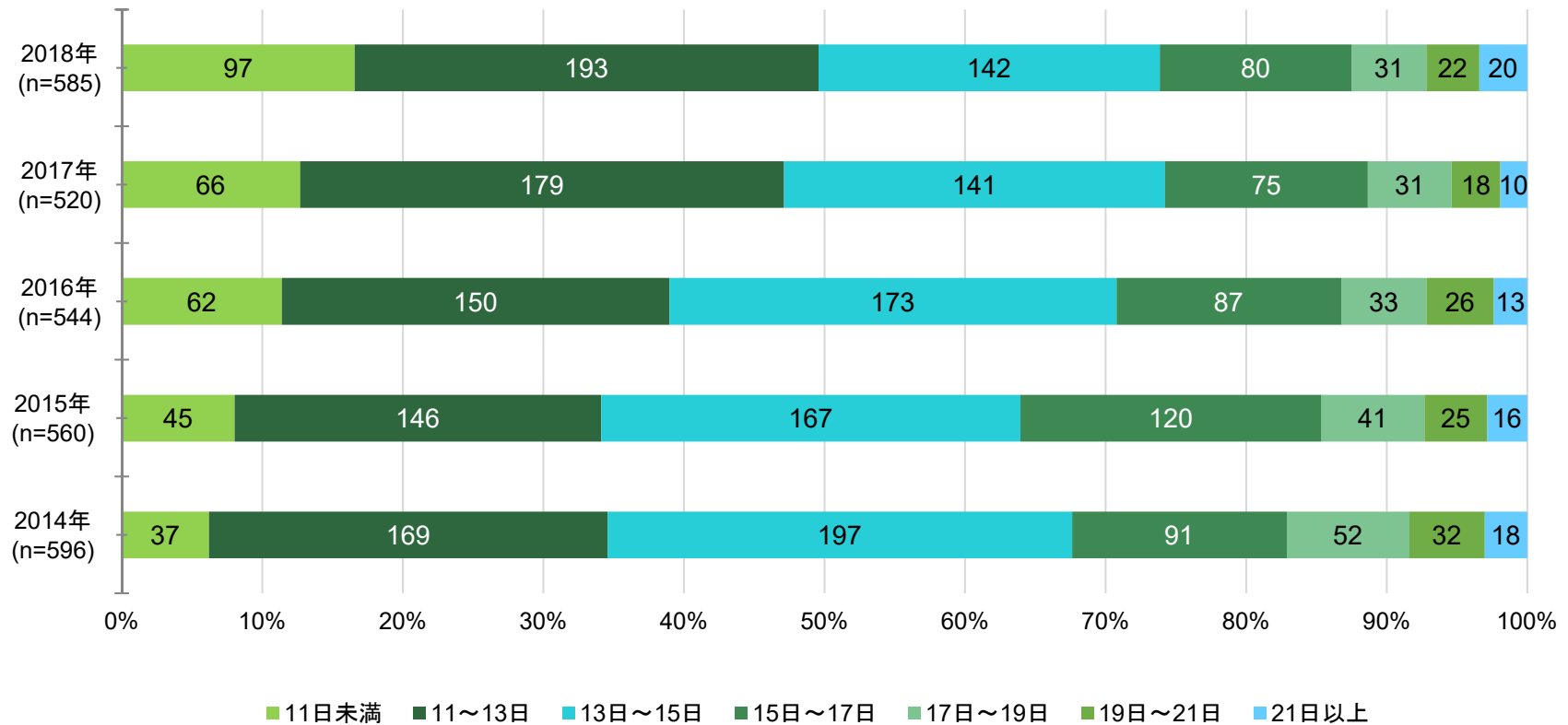
過去5年間に於ける一般病棟の病床利用割合の推移
(値は施設数を示す)



2018年に調査した
2017年度のデータ

平均在院日数

過去5年間に於ける一般病床の平均在院日数の推移
(値は施設数を示す)

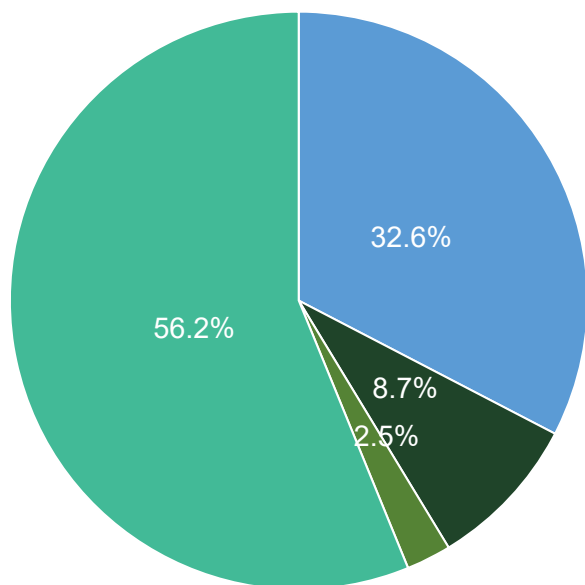


2018年に調査した
2017年度のデータ

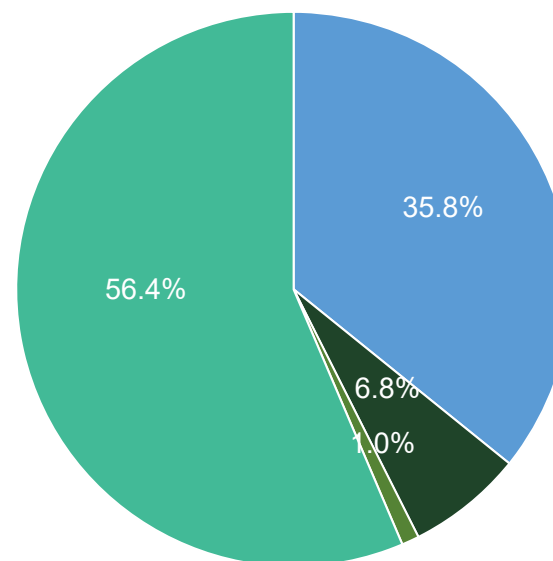
地域包括ケア病棟の設置状況

地域包括ケア病棟の設置状況

2016年度
有効回答 (n=518)



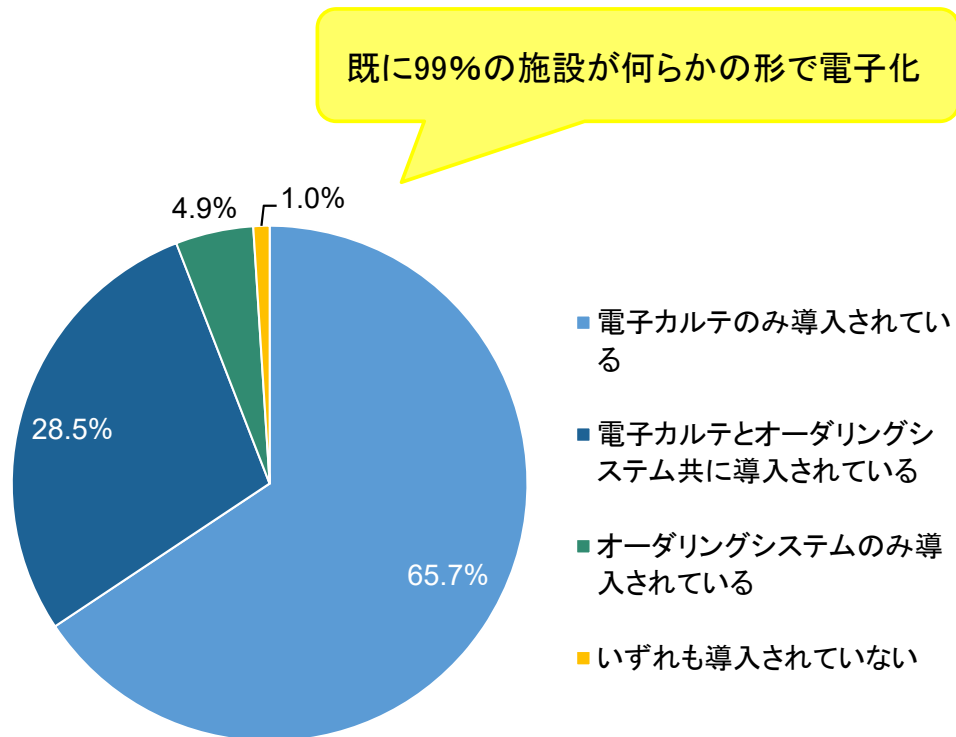
2017年度
有効回答 (n=592)



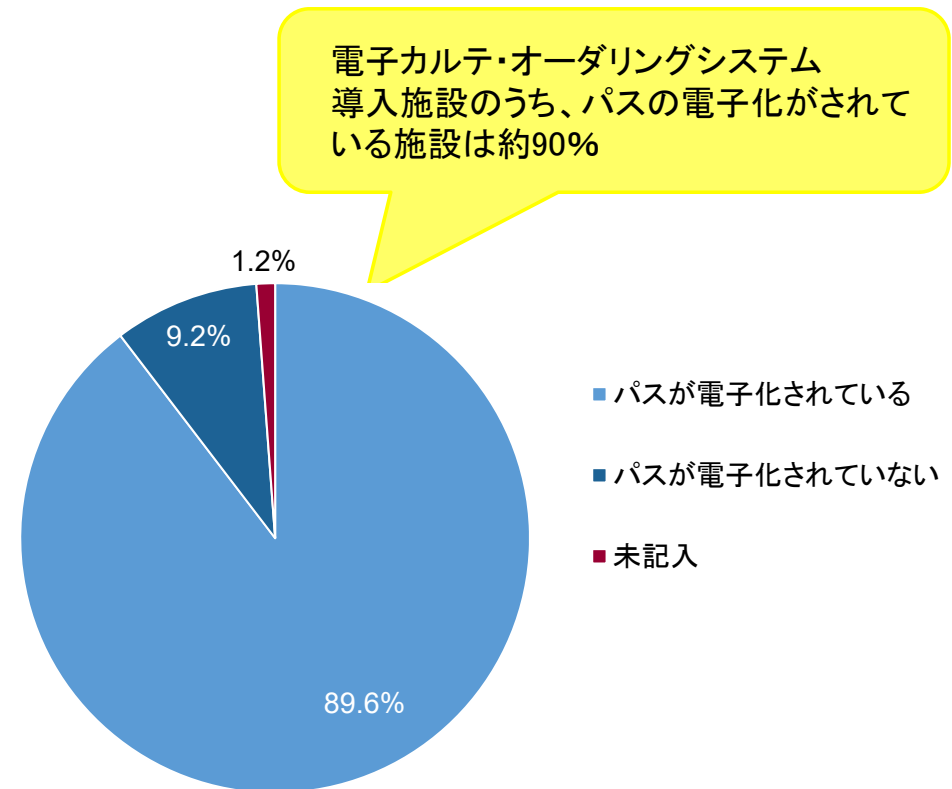
- 既に設置されている
- 検討中
- 1年以内に設置される予定
- 予定なし

診療における電子化の状況

電子カルテ・オーダーリングシステムの状況
有効回答 (n= 594)



電子カルテ・オーダーリングシステムの状況とパス電子化の関係
有効回答 (n=590)



パス使用状況

パス使用割合（率）の定義

$$\text{パス使用割合（率）} = \frac{\text{パス使用患者数}}{\text{全退院患者数}} \times 100$$

(算定例) 年間退院患者数が1000人、そのうち一種でもパスを使用した患者が600人いた場合

$$\text{パス使用割合（率）} = \frac{600\text{人}}{1000\text{人}} \times 100 = 60\%$$

パス使用割合（昨年度）

平均 41.6% (41.4%)

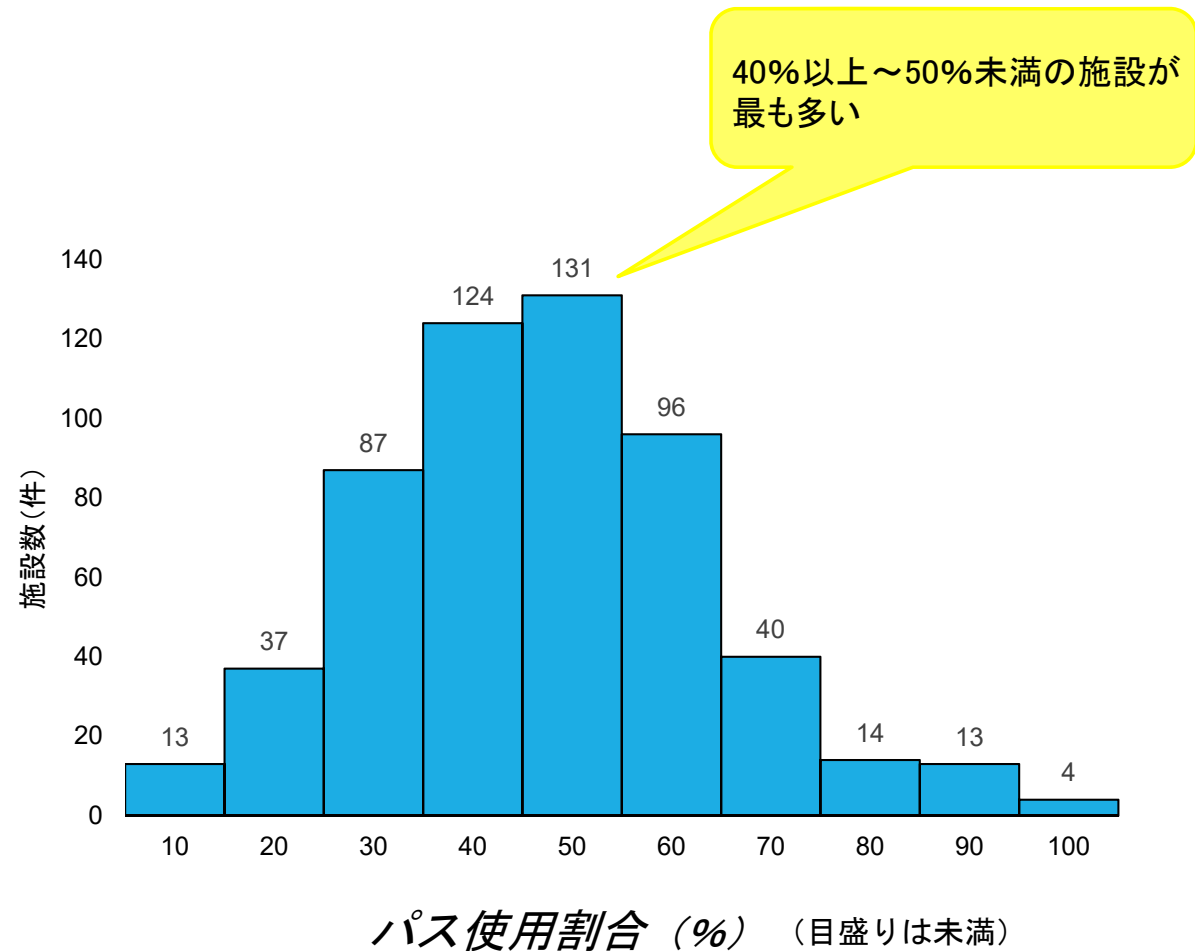
標準偏差 ± 17.1% (±17.2%)

中央値 40.9% (40.1%)

n=559 (n=484)

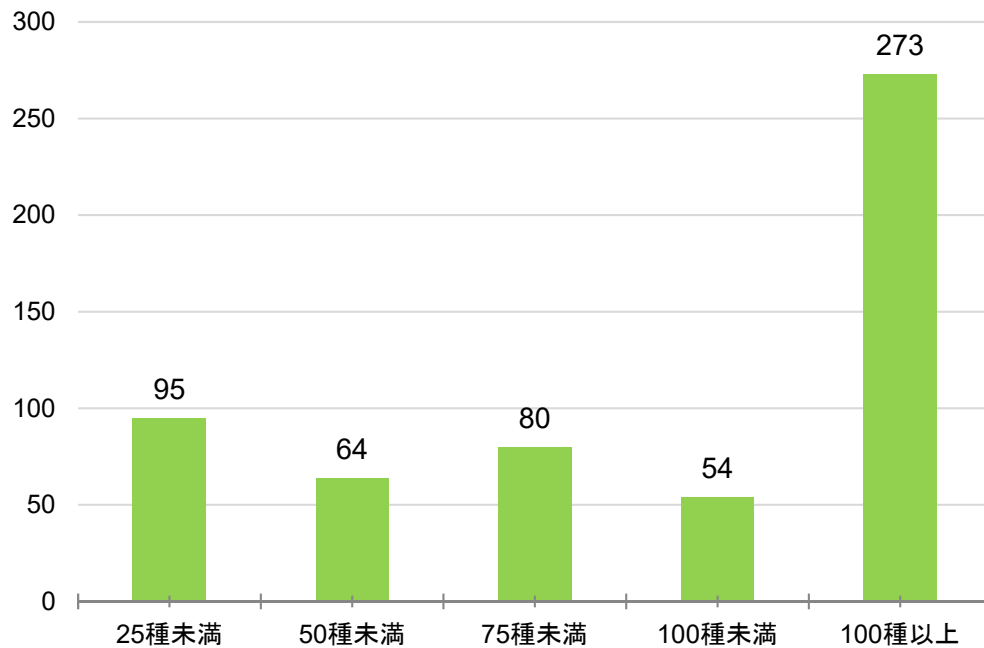
パス使用割合における施設数の度数分布

有効回答 (n=559)

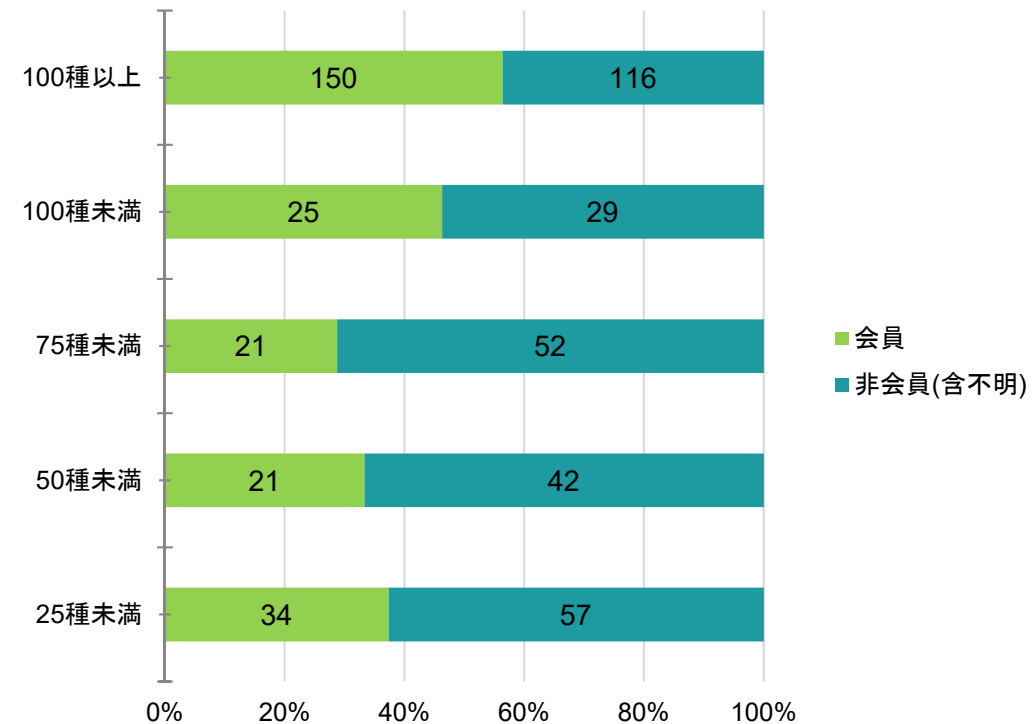


使用パス種類数

患者用・医療者用両方の揃ったパスの種類
有効回答 (n= 566)

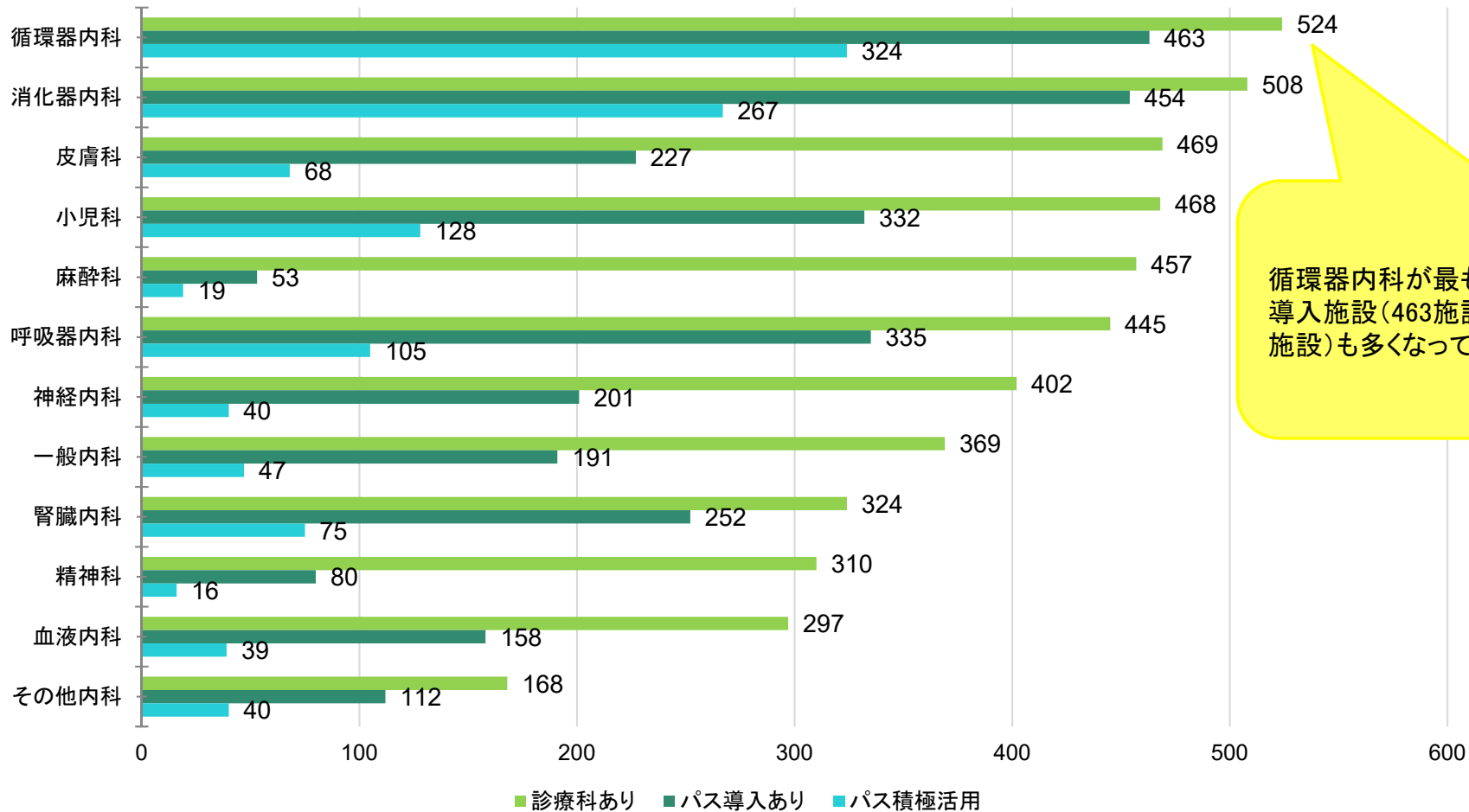


パス学会会員種別とパスの種類の関係
有効回答 (n=566)



内科系診療科におけるパス導入・活用状況

設置（標榜）診療科とパス導入及び積極活用施設数

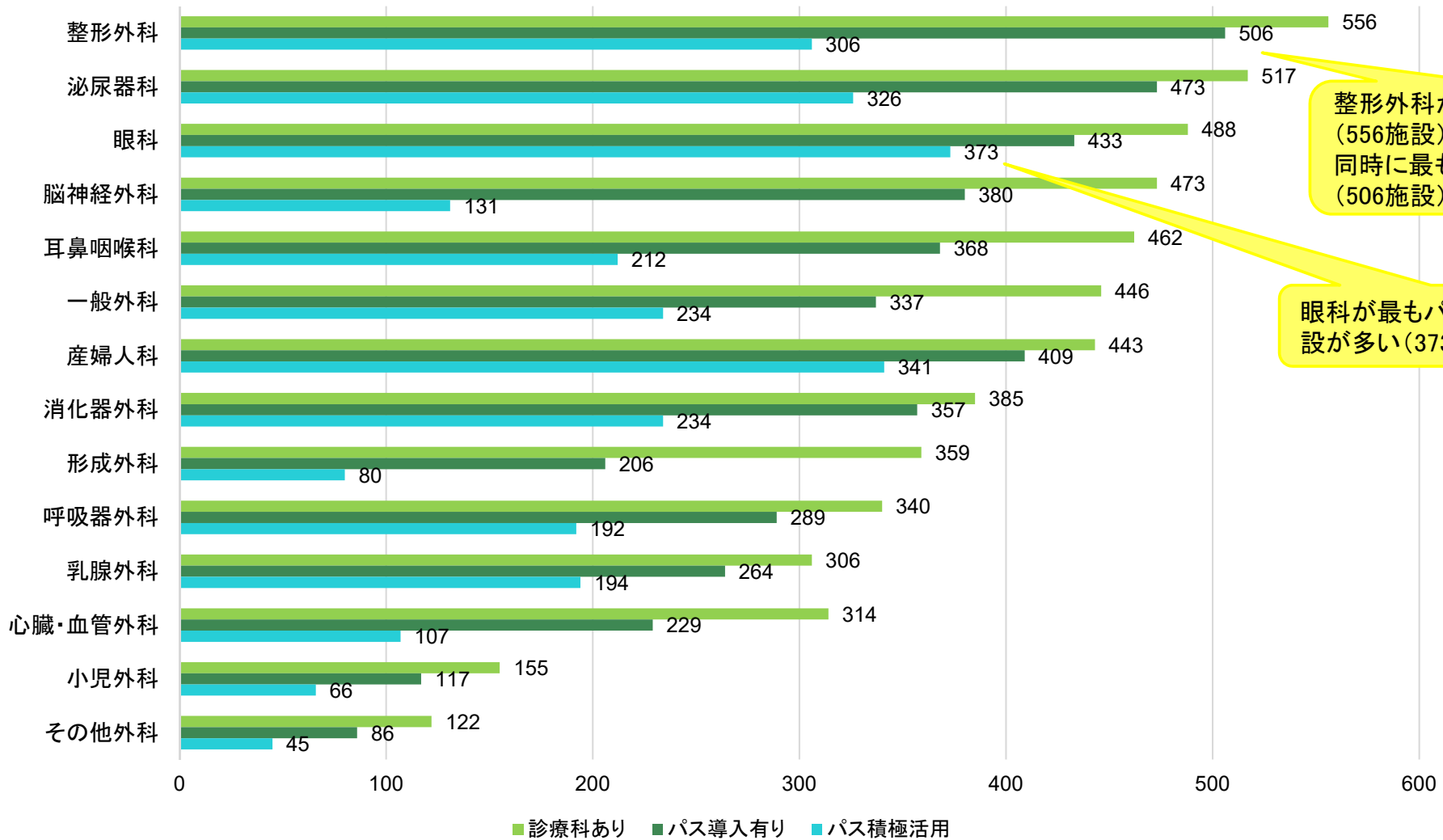


循環器内科が最も標榜されており(524施設)パス導入施設(463施設)やパス積極活用施設(324施設)も多くなっている

内科系他 (標榜施設)

外科系診療科におけるパス導入・活用状況

設置（標榜）診療科とパス導入及び積極活用施設数



整形外科が最も標榜されており
(556施設)
同時に最もパス導入施設が多い
(506施設)

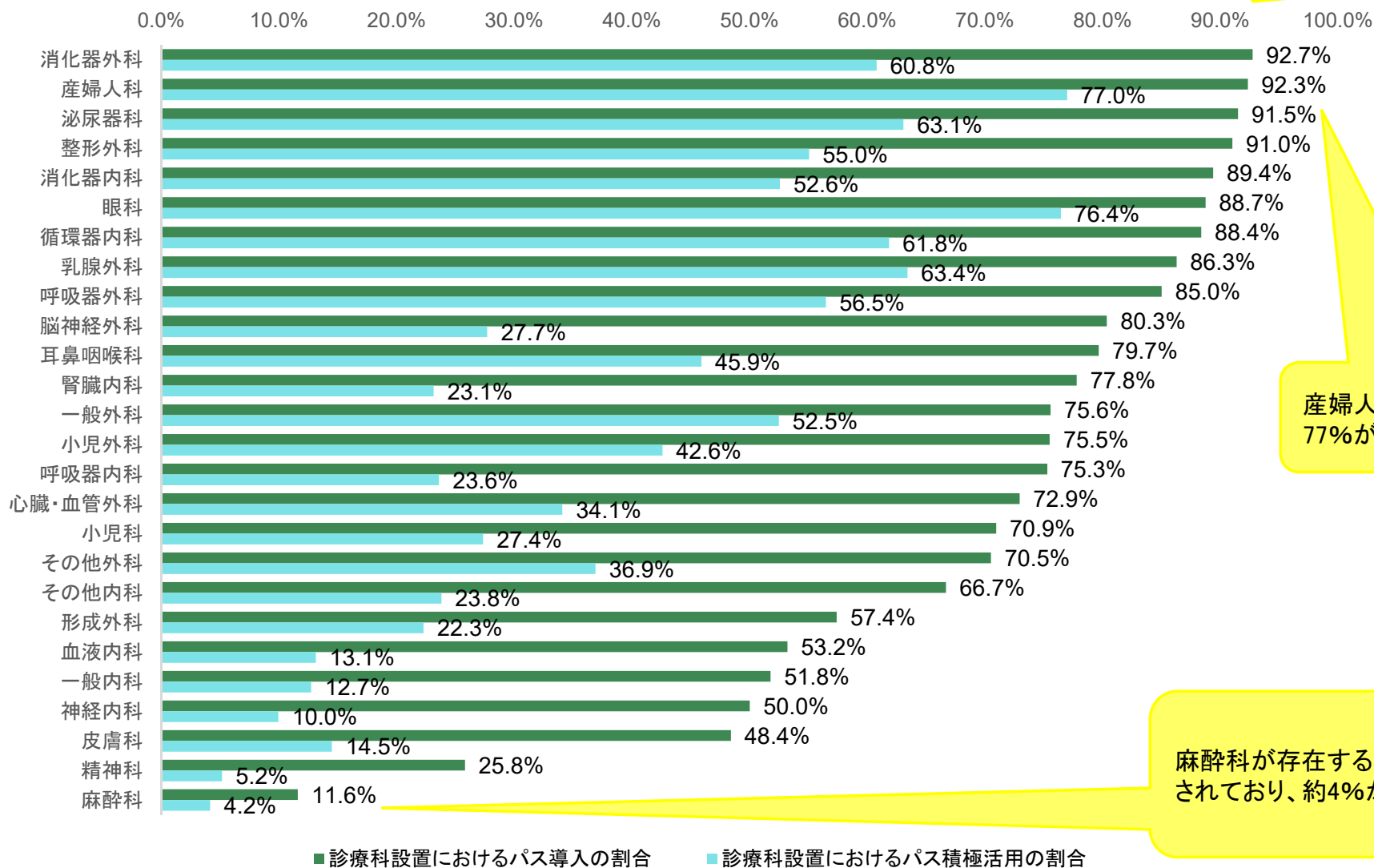
眼科が最もパス積極活用施設が多い(373施設)

外科系他（標榜施設）

設置診療科毎のパス導入・活用の割合

診療科設置（標榜）施設に占めるパス導入及び
積極活用施設数の割合

消化器外科が存在する施設の約93%にパスが導入されており、約61%がパスを積極活用している。



産婦人科が存在する施設の約77%がパスを積極活用している。

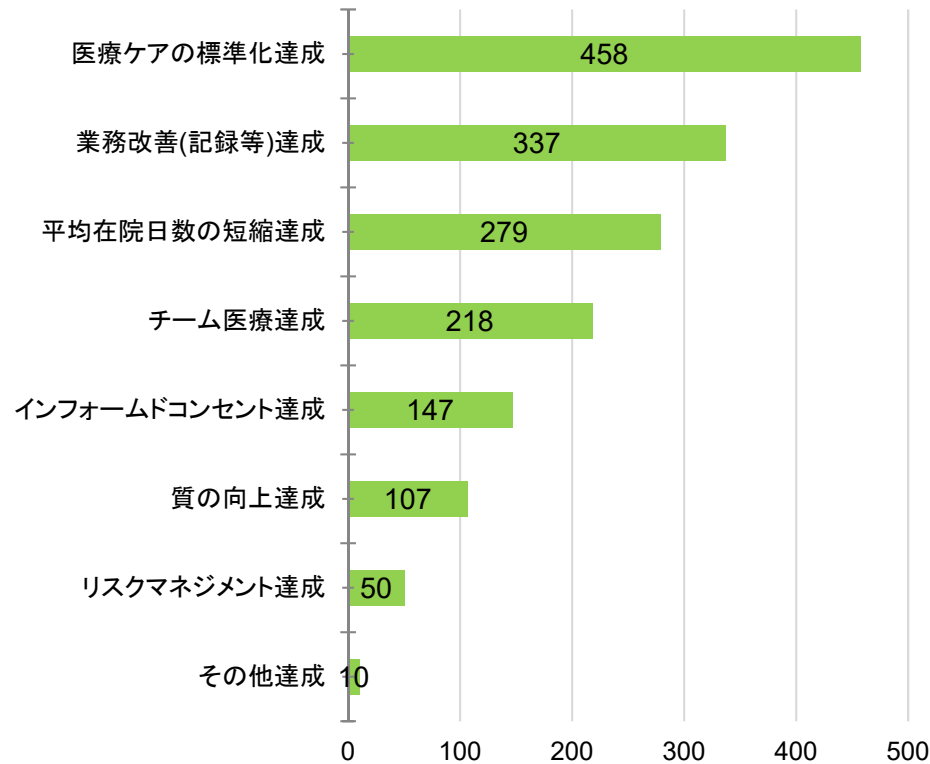
麻酔科が存在する施設の約12%にパスが導入されており、約4%がパスを積極活用している。

パスの導入で達成された点 パスの導入で困っている点

複数回答

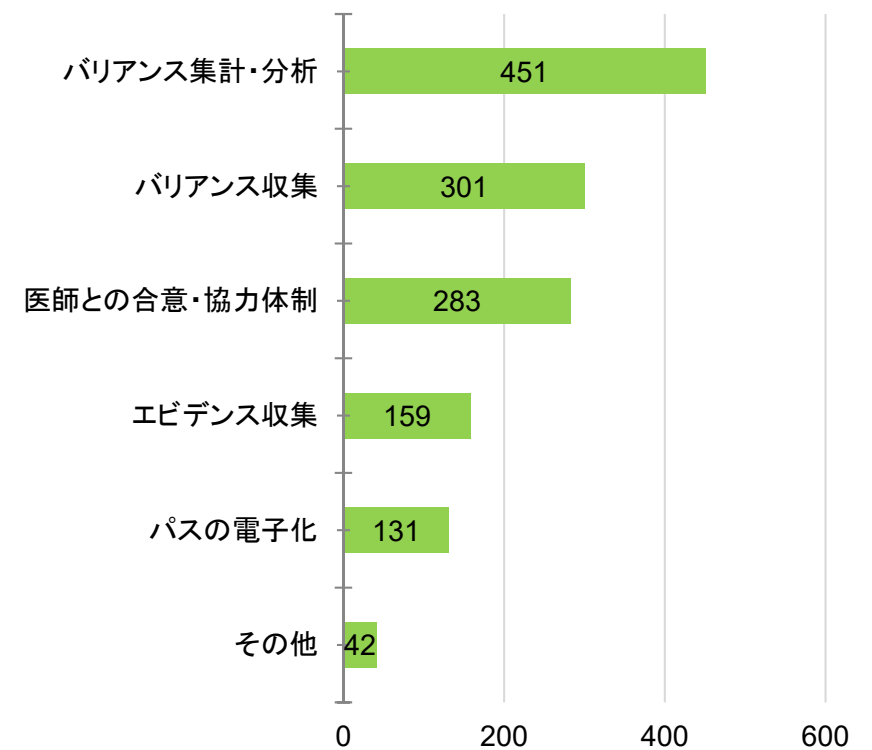
パスを導入して達成した上位3項目

延べ施設数 (n=1,606)



パスの運用で困っている項目

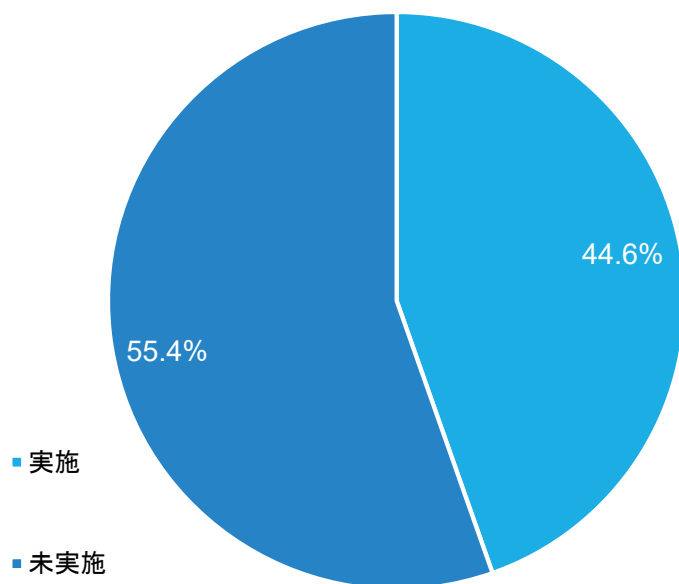
延べ施設数 (n=1,367)



パス大会の開催状況

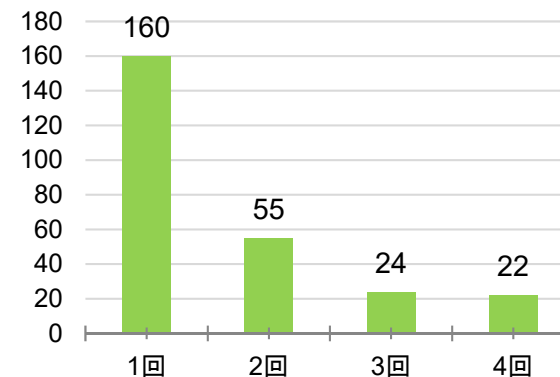
パス大会実施の有無

有効回答 (n=594)



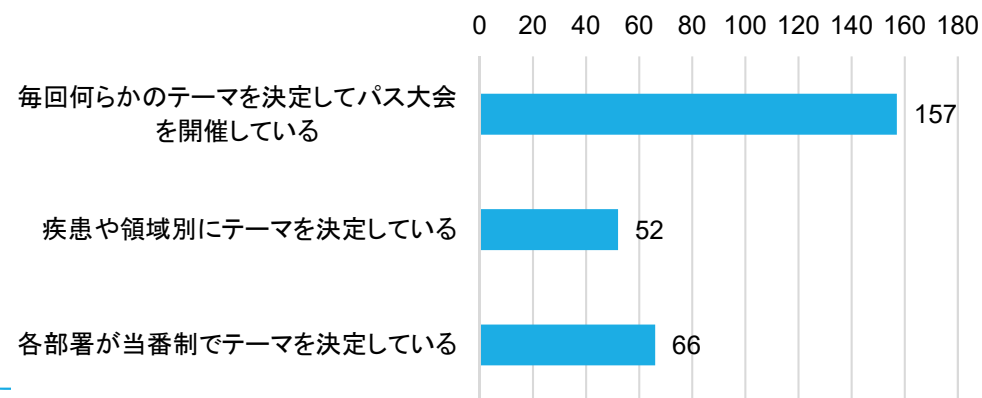
パス大会の年間開催回数の度数分布

有効回答 (n=261)



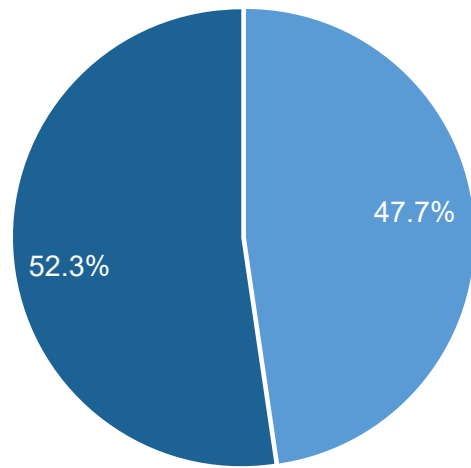
パス大会のテーマに関して

有効回答 (n=275)



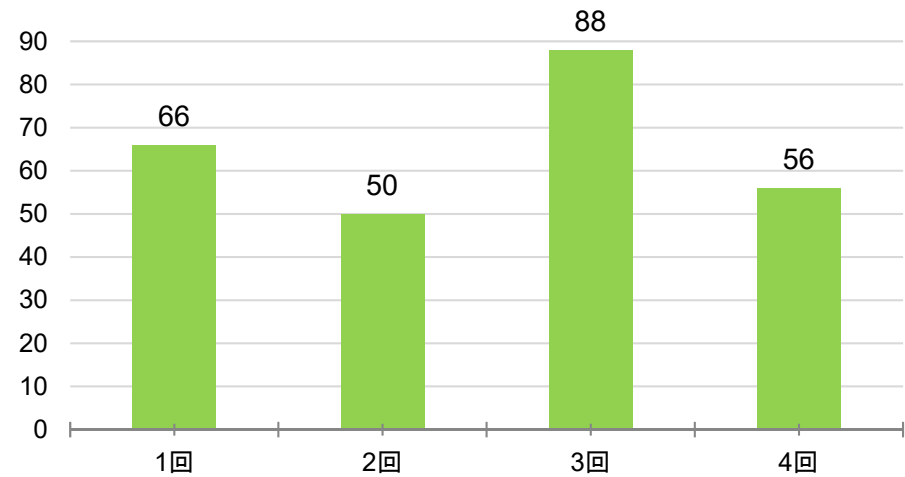
地域合同パス研究会の開催状況

合同パス研究会実施の有無
有効回答 (n=583)



■ 開催あり ■ 未開催

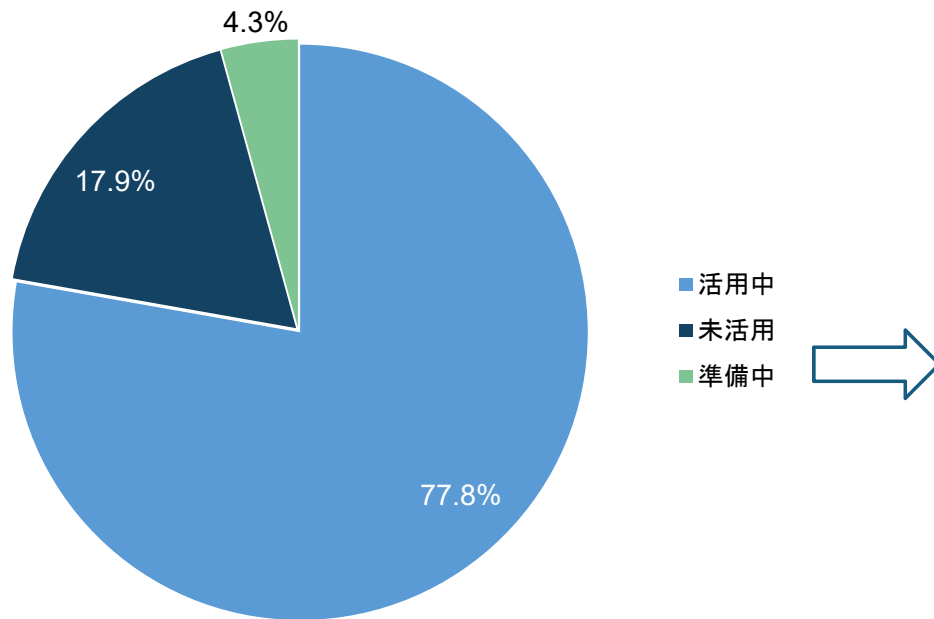
地域合同パス研究会の年間開催回数 の度数分布
有効回答 (n=260)



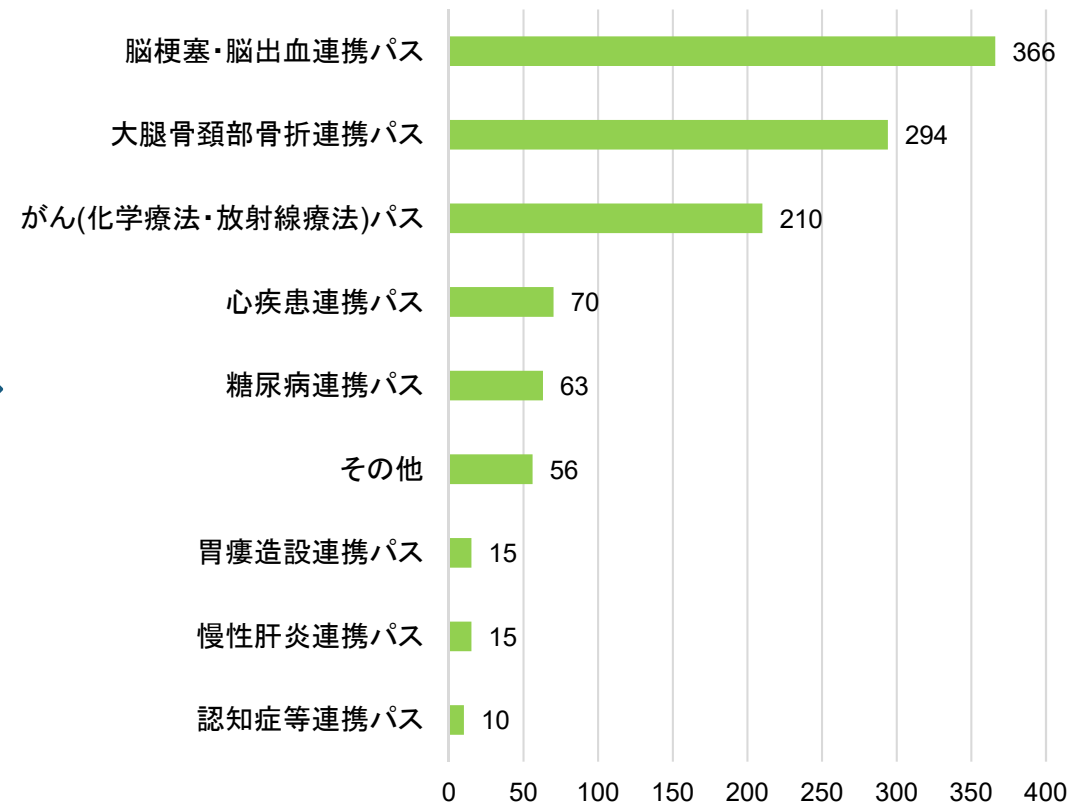
年3回の施設が最も多い

地域連携パス活用状況

地域連携パス作成活用の有無
有効回答 (n=585)



地域連携パスの種類
延べ施設数 (n=1099)



まとめ

1.パスの電子化の状況

電子カルテの導入されている施設では、約9割の施設でパスも電子化されていた。

2.入院患者に対するパスの使用（適用）

入院患者に対するパスの使用割合（率）は41.6%と昨年度より0.2ポイント増加した。

3.標榜診療科毎のパス導入・活用の割合

パス導入割合の最も多い診療科は消化器外科であり、消化器外科を標榜する施設の約93%にパスが導入されていた。

パスの積極活用割合の最も多い診療科は産婦人科であり、産婦人科を標榜する施設の約77%がパスを積極活用していた。

4.パス大会・地域合同パス研究会の実施状況

施設におけるパス大会の開催回数は年1回が最も多く、地域合同パス研究会におけるパス大会の開催回数は年3回が最も多かった。

2018年度 特定調査

院内で集計しているパスに関するデータ
(パス使用率等のクリニカル インディケーター) について

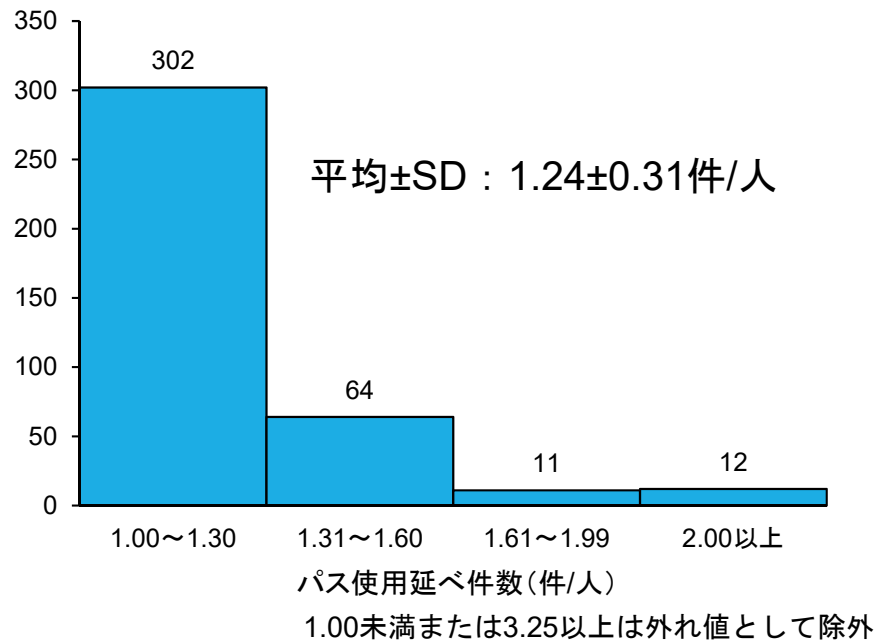
パスに関する インディケータについて

パスに関するインディケータの定義

$$\frac{\text{1年間に使用したパスの延べ件数 (件・年)}}{\text{パスを使用した患者数 (人・年)}}$$

(算定例) 施設で1年間に、延べ3000件のパスを使用し、パスを適用した患者が2000人だった場合

$$X = \frac{3000 \text{ (件)}}{2000 \text{ (人)}} = 1.5 \text{ (件/人)}$$

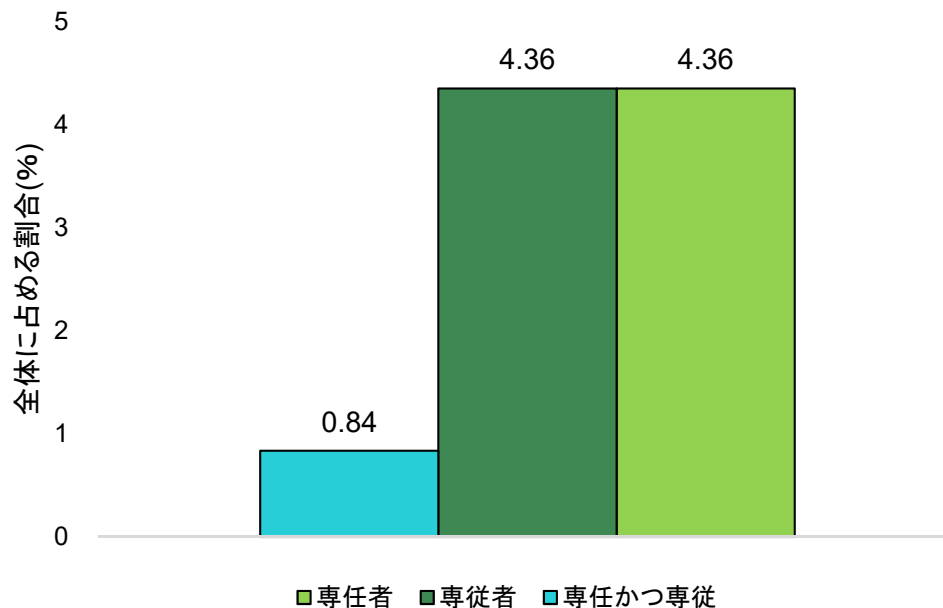


パス専任者または パス専従者について

パス専任者、パス専従者の定義

パス専任者: 就業時間の5割以上、パス業務に従事

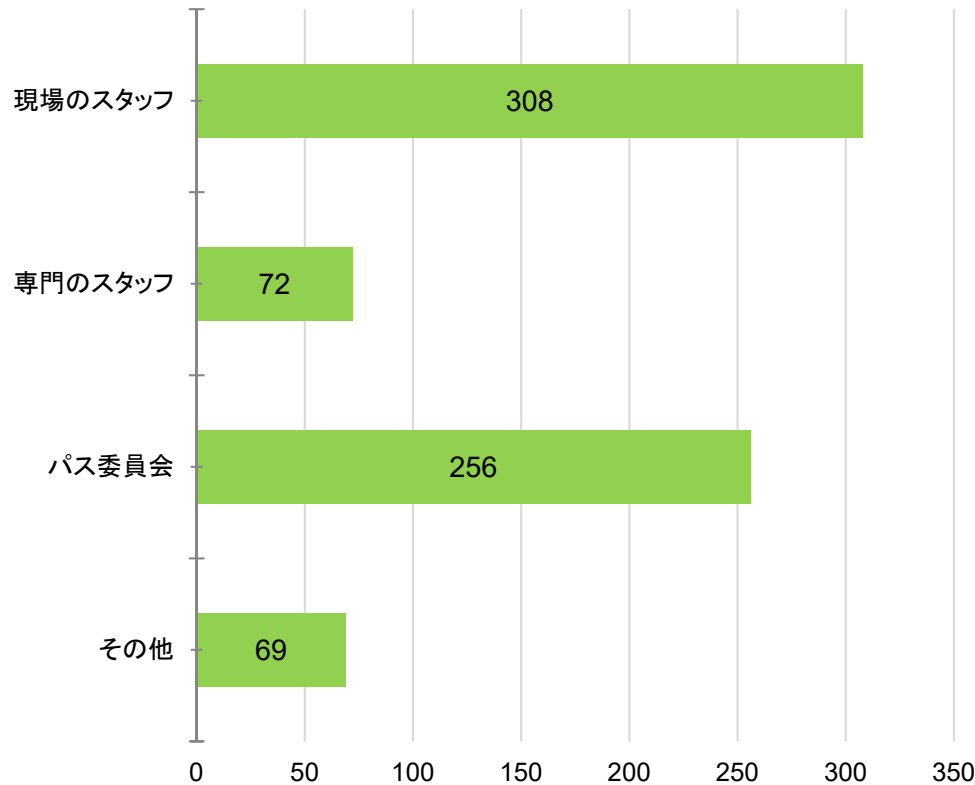
パス専従者: 就業時間の8割以上、パス業務に従事



パス運用について

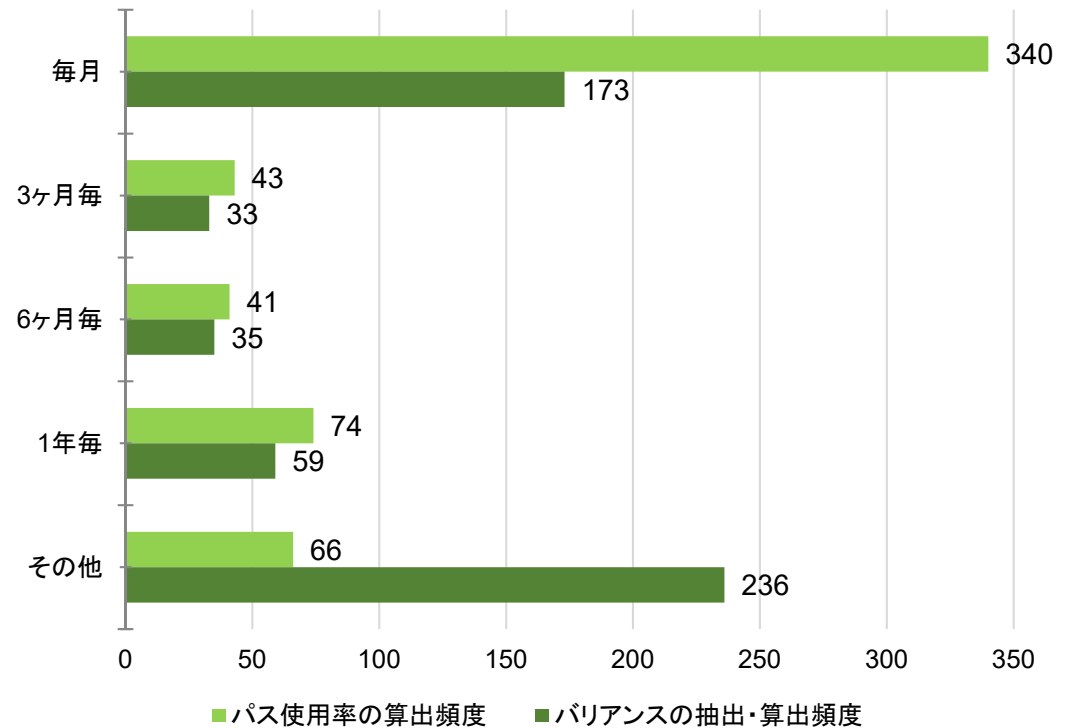
電子カルテシステムにパスを登録する担当者について

延べ施設数 (n=705)



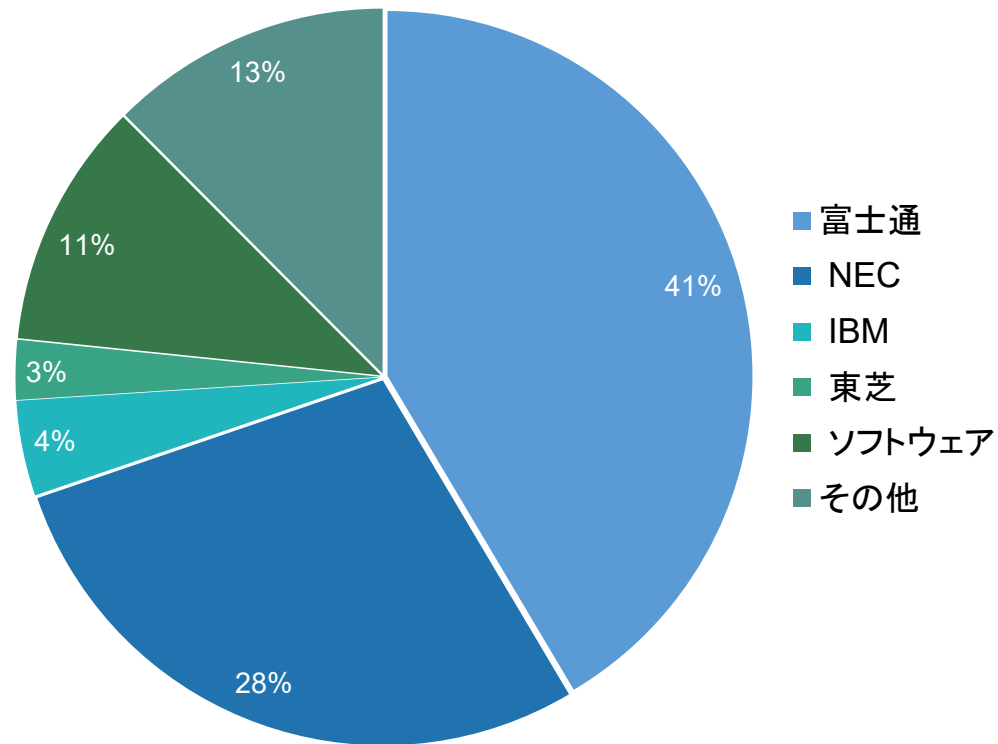
パス使用率及びバリアンス抽出の集計頻度について

有効回答 (n=564, n=536)



医療情報に関して

電子カルテのベンダーについて

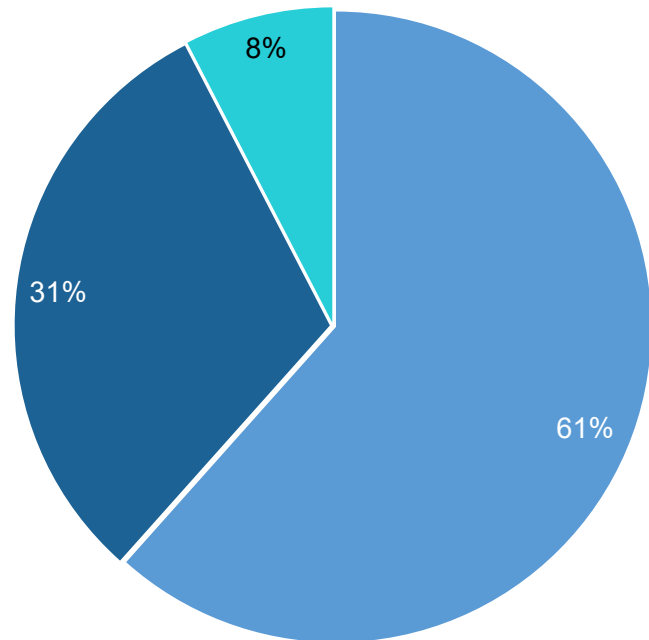


有効回答 (n=569)

医療情報に関して

BOMの使用について

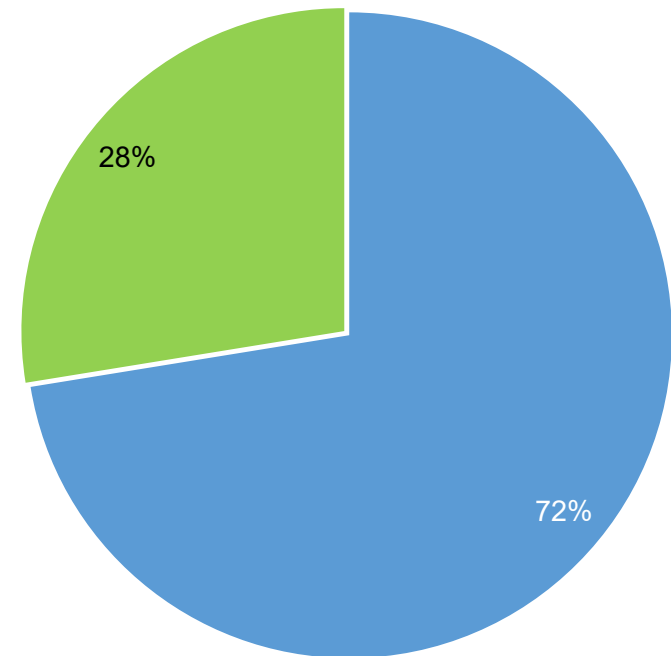
有効回答 (n=539)



■ BOMを使用していない ■ BOMを使用している ■ BOM導入を検討中である

ユニットパスの使用について

有効回答 (n=537)



■ ユニットパスを使用していない ■ ユニットパスを使用している

医師・看護師などに対するパス教育研修に関して

